

【融雪期における注意喚起について】

令和4年2月に観測史上最高の積雪深154cmを記録した大雪となりました。

例年よりも多くの雪が残っていることから、今年は特に融雪期の注意が必要です。

外出時や悪天候の際は、気象情報や市からのお知らせ等に注意してください。

○除雪中の事故・・・屋根の雪下ろし作業中の転落や除雪機の事故、作業中の心筋梗塞などへの注意が必要です。

○屋根からの落雪・・・雪がひさしのような雪庇（せっぴ）や屋根からの急な落雪に注意が必要です。

○給排気口の詰まりによる一酸化炭素中毒・・・落雪などで、暖房器具などの給排気口が雪に埋もれていないか注意が必要です。

○通行上の注意・・・歩行者も自動車等も雪が残っているところや無くなっているところなど様々な道路状況に注意が必要です。

○道路の冠水・・・道路の排水口が雪や氷でふさがり、雨が降ると、排水できずに道路が冠水することがあるので、通行には注意が必要です。

○ブラックアイスバーンの多発・・・雪が多いことから濡れている路面もたくさんあり、朝晩の冷え込みで突然ブラックアイスバーンが出てくるので注意が必要です。

○道路沿いの雪の崩落・・・除雪の際に積み上げた雪が、地震発生や気温の上昇により崩れ落ちることがあるので注意が必要です。

○融雪期の災害・・・地盤のゆるみや雪解け水が引き起こす、土砂災害、川の増水、低地の浸水などにも注意が必要です。